

# Pre 医療専攻だより

新潟県立小出高等学校 1 学年 Vol.2



11月30日(火)に医療専攻を希望する1年生47名を対象に医療講演会を行いました。今回の講演では、小出病院より看護師の佐藤 朋美さん、薬剤師の佐々木 陸さん、そして臨床検査技師の渡邊 玲音さんの3名に御来校いただき、貴重なお話を伺うことができました。

## 《看護師 佐藤さんのお話から》

### 看護師として大切にしていること

コミュニケーションを積極的にとり、様々な場面から患者さんの状態を理解するように努めている。患者さんだけではなく、ご家族の方ともコミュニケーションをとり、ご家族のことまで考えられる看護をすることを心がけている。また、重い病気の患者さんの苦痛を取り除くために、自分ができることが何かを常に考えるようにしている。例えば痛み止めだけではなく、声をかけたり背中をさすったりすることで痛みを和らげることができる。



### 小出病院を選んだのは

地元も大学も群馬で、大学卒業後は急性期病院である前橋日赤病院に勤務しており、重症の患者さんを多く診ていたが、結婚を機に新潟へ。慢性期病院である小出病院は深く患者さんと関わり、コミュニケーションをとることができる。退院することが困難な患者さんが、どうしたら退院し自宅で生活を送ることができるかを多職種連携で考えるところが魅力である。

## 《薬剤師 佐々木さんのお話から》

佐々木さんは小出高校出身で、昨年4月から小出病院で薬剤師として勤務している。

### 薬学部への進学について

薬剤師になるには6年制の薬学部に進学し、国家試験に合格しなければならない。今年の合格率は7割。学生生活は1~3年生は午前が講義中心、午後は実験を行う。講義は生物や物理、化学、法規、衛生など多岐に渡っている。4年生はさまざまな試験、5年生は実務実習(薬局、病院でそれぞれ2ヶ月半ずつ)、6年生は就職活動、卒業研究や国家試験で大変忙しい。6年間は長く感じるかもしれないが、それだけ充実した学習ができた。



### 薬剤師になってみて

薬局はコンビニエンスストアよりも数が多く、就職には困らない。多職種との関わりが多く、様々な職種のことも学ぶことができる。ただ、6年間の大学生活で勉強してきても、まだまだ現場の知識に追いつけないことを日々実感している。

## 《臨床検査技師 渡邊さんのお話から》

渡邊さんは新潟市出身で、小出病院で臨床検査技師として勤務して4年目。

### 臨床検査技師とは

様々な検査を行い、患者さんのデータを集めて医師に提出する。検査には検体検査と生理検査があり、検体検査は患者さんの体から採取した血液や尿を調べる。PCR検査も検体検査の1つである。生理検査とは患者さんの体に検査器具を取り付け調べる。生理検査には超音波検査や心電図検査などがある。



## 検査技師の魅力

データを一番に医師に提出し、早期発見の手がかりや、必要な薬の選択など次につなげることができる。また、自分の興味のある分野をさらに学ぶことにより、その分野のスペシャリストになることができる。



### 《生徒の質問》

#### 「医療系の進路に進むために、今やっておくべきことはありますか」

- ・生物や数学をしっかりとっておいたほうがよい。
- ・医療の現場には様々な職種があるので、こういった職種があるのか、漫画やドラマからでもいいのでイメージしておいた方がよい。
- ・医療系の仕事に就いてからも、自分の興味の持った分野について調べる場面がたくさんあるので、自分で追求する感覚、気持ちを大切に。
- ・医療の現場ではチーム医療が基本。コミュニケーション力が求められるので、部活動や学校行事など、人と関わることを積極的に行う。また発表するような場面があればどんどんチャレンジするべき。

#### 「大変だったこと、大切だと思ったことはなんですか」

- ・患者さんとコミュニケーションをとり、信頼関係を築くこと。あまり話したがらない患者さんから聞き出すためには信頼関係が大切だが、信頼関係を築くことは大変だと常に感じている。
- ・医師や長く勤務している先輩に自分の意見を言ったりすることが一番苦戦している。
- ・身につけなければならない知識が多く、毎日新しい事を知ったり、疑問に思ったりすることがある。それは大変だがやりがいでもある。

#### 「若い人はどのくらいいますか」

- ・小出病院の看護師は新人が毎年3名ほど入ってくる。現在20~30代は10名ほどが働いている。大きい病院では毎年新人看護師が6~70名入ってくる。
- ・小出病院の薬剤師は現在7名でそのうち6名が女性。半分は20~30代。
- ・小出病院の検査技師は13名おり、そのうち男性が2名、女性が11名。4名が20~30代。



### 《生徒の感想》

- ・どの職種もコミュニケーションが大切なことがわかりました。コミュニケーションを通じ、患者さんの状態を知ることができると聞き、改めてコミュニケーションは人付き合いのためだけではなく、人助けにつながることを知ることができました。今のうちからコミュニケーション力を高めていきたいと思いました。
- ・やらなければならない課題をこなすだけではなく、どのようにすれば患者さんをもっと安心させられるかなど、自分で考えて行動することが大切だと思った。
- ・今日の講演会で普段聞くことのできない現場で働く方たちの話が聞けてうれしかったです。特に臨床検査技師はどのような仕事をする人なのかわかりませんでした。話を聞いてとても魅力のある職業だということがわかりました。
- ・一番大切なことは患者さんに寄り添うことだと思いました。看護師の方が痛みを和らげるのに薬の力だけではなく、言葉や思いやりの気持ちが痛みを和らげるとおっしゃっていて、コミュニケーションも薬の1つだと思いました。